平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結) 平成17年2月3日

上場会社名 ダイワボウ情報システム株式会社 (コード番号:9912 東証・大証第1部)

(URL http://www.pc-daiwabo.co.jp/)

代 表 者 取締役社長

松本 紘和

問合せ先責任者 取締役財務部担当兼経営企画室長

小山 紀 (TEL:(06)-6281-1161)

1.四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

・引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成 17年3月期第3四半期の業績概況(平成16年4月1日~平成16年12月31日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満の金額は、いずれも切り捨てて表示しております。)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純 利 益	
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	
17年3月期第3四半期	257,665 7.4	2,201 92.9	1,862 147.6	761 176.7	
16年3月期第3四半期	239,974	1,141	752	275	
(参考)16年3月期	347,394	3,800	3,331	1,605	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜 在 株 式 調 整 後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	46 58	
16年3月期第3四半期	16 83	
(参考)16年3月期	92 22	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のわが国経済は、企業収益の改善、民間設備投資の増加基調など、ゆるやかに回復 基調を辿っておりますが、米中の景気動向懸念や原油価格・素材価格の高止まり、牽引役のIT・ デジタル関連に若干の翳りが見え始め、景気先行きに対する減速感も出てきました。

国内パソコン業界においては、電子情報技術産業協会(JEITA)の発表によれば、第3四半期(10~12月)は、284万台(前年同期比113%)と引き続き好調で、台数ベースで7四半期連続のプラス成長となりました。販売単価の下落が一服し、金額ベースでも増加に転じました。企業向け市場では、2000年問題で導入されたPCのリプレース需要を中心に引き続き好調であり、2005年4月施行の個人情報保護法に絡むセキュリティー対策の投資も目立ってきました。

このような状況下、当社グループは、前年度のオーバー・ザ・ミリオン・キャンペーン達成に引き続き、当年度は、当社グループでPC本体の扱い台数110万台を目標としております。さらに、「チャレンジサーバー4万台」を合言葉にサーバー拡販のキャンペーンを推進しております。当社販売経路の大半は最終ユーザー中堅企業向けであり、中堅企業の設備投資意欲に改善がみられたこ

とで順調に増収を確保しました。第3四半期においては、コンシューマー市場向けでWeb通信販売向けの売上高が増加しました。

10月、東京地区の事業所を品川区大井に統合移転し、東京支社を開設しました。販売部門、仕入部門、一部子会社も集結して、中枢拠点として、グループ内の連携を密にすることで、よりよい提案をお客様にすることが可能になりました。

システムインテグレーション事業を行っているディーアイエスシステム販売株式会社は、当社100%子会社としております。収益改善のため、納期等の見直しをはかり、業績の平準化に取り組み、人員削減など構造改革を実施した結果、黒字化しました。当社東京支社と同じビルに移転し、協業による活動を強めてまいります。ソリューション事業を再編強化するため、休眠子会社大阪インターネット株式会社を改組し、ディーアイエスソリューション株式会社(品川区大井)として営業を開始しました。

[当社グループの四半期業績の特性について]

わが国においては、事業年度末を3月と定めている企業が多く、システムの導入・検収が、9月及び3月に集中する傾向にあります。また、機器の納入についても、年度末の3月度に集中する傾向にあります。グループの業績は、季節変動があり、第4四半期(1~3月)に多く計上され、第4四半期の動向が通期業績に大きな影響を与える傾向にあります。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり 株 主 資 本		
	百万円	百万円	%	円 銭		
17年3月期第3四半期	123,810	28,212	22.8	1,726 11		
16年3月期第3四半期	117,667	26,494	22.5	1,620 35		
(参考)16年3月期	133,192	27,873	20.9	1,704 85		

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における当社グループの財政状態は、前年同期に比較すると、つぎのとおりであります。10月に、社内システム設備投資等のための資金調達として、転換社債型新株予約権付社債50億円を発行しました。これにより現金及び預金が増加し、総資産が増加しております。負債では、短期借入金が、73億円減少しております。

3.平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期の業績がほぼ計画どおりに進捗しているため、平成16年11月4日発表の業績予想数値を変更しておりません。

ただし、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上

添付資料

(要約)第3四半期連結貸借対照表、(要約)第3四半期連結損益計算書、

1.(要約)第3四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	水 田 水	ĦΠ	前年回川	1半期			(単位:白力円) (参考)	
	当四半期 (平成17年3月期		前年同四半期 (平成16年3月期		増	減	(<i>参</i> 考) 前連結会計年度	
科目	第3四半期末)		第3四半期末)		相	/I%	(平成16年3月期)	
	金額構成比		金額構成比		金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
流動資産								
現金及び預金	13,443		8,522		4,920	57.7	4,023	
受取手形及び売掛金	66,557		66,950		393	0.6	82,171	
たな卸資産	18,582		17,870		711	4.0	20,680	
その他	2,682		2,899		217	7.5	3,950	
流動資産合計	101,265	81.8	96,242	81.8	5,022	5.2	110,825	83.2
固定資産								
有形固定資産	15,087	12.2	15,117	12.9	29	0.2	14,969	11.3
無形固定資産	1,869	1.5	1,318	1.1	550	41.8	1,618	1.2
投資その他資産	5,588	4.5	4,989	4.2	599	12.0	5,778	4.3
固定資産合計	22,545	18.2	21,424	18.2	1,121	5.2	22,366	16.8
資産合計	123,810	100.0	117,667	100.0	6,143	5.2	133,192	100.0
(負債の部)								
流動負債								
支払手形及び買掛金	75,228		69,797		5,431	7.8	80,897	
短期借入金	600		7,900		7,300	92.4	9,120	
その他	3,883		2,957		926	31.3	4,809	
流動負債合計	79,712	64.4	80,654	68.6	942	1.2	94,827	71.2
固定負債								
新株予約権付社債	5,000		-		5,000	-	-	
長期借入金	8,160		8,265		105	1.3	8,040	
退職給付引当金	597		482		115	23.9	531	
役員退職給与引当金	273		237		36	15.2	252	
その他	1,148		997		150	15.1	1,078	
固定負債合計	15,178	12.3	9,981	8.5	5,197	52.1	9,903	7.4
負債合計	94,891	76.7	90,636	77.1	4,254	4.7	104,730	78.6
(少数株主持分)								
少数株主持分	707	0.5	536	0.4	170	31.9	589	0.5
(資本の部)								
資本金	9,318	7.5	9,318	7.9	-	-	9,318	7.0
資本準備金	9,501	7.7	9,501	8.1	-	-	9,501	7.1
利益剰余金	9,300	7.5	7,633	6.5	1,667	21.8	8,963	6.7
その他有価証券評価差額金	111	0.1	52	0.0	58	111.3	103	0.1
自己株式	19	0.0	11	0.0	7	72.5	12	0.0
資本合計	28,212	22.8	26,494	22.5	1,718	6.5	27,873	20.9
負債、少数株主持分及び資本合計	123,810	100.0	117,667		6,143	5.2	133,192	100.0

2. (要約)第3四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	当四半期		前年同四半期		増減		(参考)		
	(平成17年 3 月期		(平成16年3月期				前連結会計年度		
科目	第3四半期)		第3四半期)				(平成16年3月期)		
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比	
		%		%		%		%	
売上高	257,665	100.0	239,974	100.0	17,691	7.4	347,394	100.0	
売上原価	237,194	92.1	221,018	92.1	16,175	7.3	319,585	92.0	
売上総利益	20,471	7.9	18,955	7.9	1,515	8.0	27,808	8.0	
販売費及び一般管理費	18,269	7.1	17,813	7.4	455	2.6	24,008	6.9	
営業利益	2,201	0.8	1,141	0.5	1,060	92.9	3,800	1.1	
営業外収益	139	0.0	119	0.0	19	16.5	174	0.1	
営業外費用	479	0.1	509	0.2	29	5.9	643	0.2	
経常利益	1,862	0.7	752	0.3	1,110	147.6	3,331	1.0	
特別利益	104	0.0	ı	-	104	-	-	-	
特別損失	97	0.0	1	-	97	-	310	0.1	
税引前第3四半期(当期)純利益	1,868	0.7	752	0.3	1,116	148.4	3,021	0.9	
税金費用	943	0.3	392	0.1	551	140.7	1,278	0.4	
少数株主利益	163	0.1	85	0.0	78	92.4	137	0.0	
第3四半期(当期)純利益	761	0.3	275	0.2	486	176.7	1,605	0.4	